

議会の視点・論点!

～第4回定例会の主な質疑の要約～

今金米消費拡大事業について

Q1. レトルト米を配布する事になった経過を教えてください。

A1. 新型コロナウイルス感染症を契機に、町全体をどうするのかという事を考えた時に、今金町は農業の町であり、生産高の三分の一を占める米にポイント当てたらどうだろうという思いがありましたので、担当と協議をして参りました。私が米の消費拡大の話をしている中では、精米したてのお米が一番美味しいという事を奨励しておりますが、町民の方にそれを還元しようとした場合、玄米での提供は難しい。あわせて1人当たりという単位や配布方法などの検討をしている中で、農協から、レトルト米の開発研究を行い、実用化になるという情報を頂きました。今金産の米を使いますから、米の消費を拡大するという視点でいけば、望ましい方法ではないかという事で、農協にも検討頂き、事業を進めて参りました。(町長)



※1月28日で配布は終了しました。

第6次今金町総合計画基本構想の策定について

Q1. 策定にあたり、どの位の方が関わって、どれ位の予算が使われたのか。

A1. 令和元年度から令和2年度の2年間にかけて、委託契約として請負代金777万7千円で、委託内容はアンケート調査及び計画策定に伴う支援業務となっております。審議委員数は全員で26名です。その内、一般公募の方が3名おります。また、4つの専門部会に分かれており、人づくり部会7名、暮らしづくり部会7名、ものづくり部会6名、まちづくり部会6名となっております。4月、5月は新型コロナウイルス感染症の影響で、審議が出来ない状況でしたが、その後1月のペースで専門部会を開催して、今日に至っております。



第6次今金町総合計画の表紙

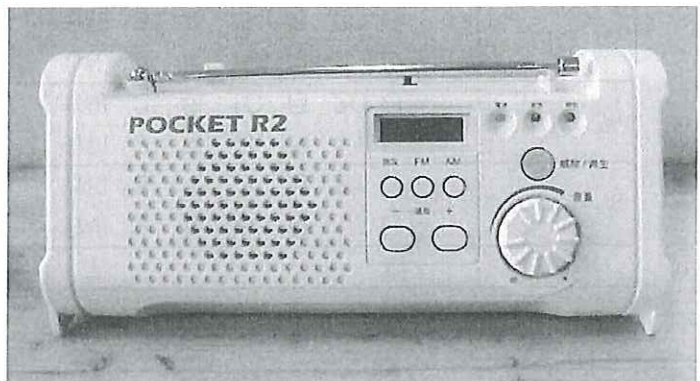
Q2. 第6次今金町総合計画基本構想は町の最上位計画であることから、国と近隣町との関わりはどうなりますか。

A2. 基本構想と計画については、策定した後に国や近隣町に送付をして、今金町としての方向性を示します。(まちづくり推進課)

防災行政無線施設・戸別受信機について

Q1. 戸別受信機を各家庭に設置をするという事ですが、耐用年数は何年か。また、修理費用は個人で負担をするという事だが、他の市町村で破損や修理費用が掛かった事例があれば教えて頂きたい。

A1. 耐用年数について、明確に何年という定めはありません。また、故障についての事例も他の市町村から情報はありませんので、破損以外では基本的に利用者が修理費用を負担するという事は想定をしておりません。もし、戸別受信機で受信出来ない場合は、原因を究明して対応したい。(くらし安心課)



各家庭に配布をされる戸別受信機

Q2. 防災広報活動など緊急の場合、町民に貴重な情報を届けて頂けると思いますが、行政一般、生活情報については、どの程度までのものを想定しているのか。

A2. 防災情報については、災害発生の恐れがある場合の事前情報や避難をしなければならない場合を考えております。一般情報については、例えば熊の目撃情報や断水など、地域に密着する事案が発生した場合を想定しています。個別の案件については、各課から放送を希望する場合は申請を頂き、放送の可否は庁内の審査委員会で決めたいと考えております。(くらし安心課)

Q3. 戸別受信機の電源が入っていない場合でも緊急の放送は受信出来ますか。

A3. 電源が入っている、入っていないに限らず自動的に緊急放送は受信出来ます。(くらし安心課)

Q4. 屋外拡声子局について、既存の12箇所の他に、新設で9箇所ありますが、場所はどのようにして選定をしたのか。

A4. 新設の場所については、避難所に指定されている各地域の生活館を基本に選定いたしました。新設に必要な敷地があり、電力も比較的容易に確保出来る事を考慮しています。(くらし安心課)

Q5. 屋外拡声子局の設置目的は、防災広報活動や災害の未然防止という事です。本町では大雨による水害で、利別川の氾濫が想定をされます。そのことから、利別川流域も設置の範囲に入れるべきだと思う。

A5. 今回、利別川流域に屋外拡声子局を設置する予定はありませんでしたが、開発局では、上地区・種川方面に河川氾濫のお知らせを出来るように整備されていますが、下流域には整備されていない状況です。屋外拡声子局だけで町内全域にお知らせを出来れば良いですが、現在はそのような状況まで整備が出来ていません。戸別受信機や屋外拡声子局の他に、スマートフォンでも情報の入手を出来る準備をしておりますので、これらの手段を活用して頂き、情報を得て頂けるよう町民の皆様にも周知して参ります。(くらし安心課)

新型コロナウイルス感染症の情報提供について

Q1. 道内も新型コロナウイルス感染症が拡大をしており、町民の皆様が心配をしているのは「私達の町で発生をしているのか」という事です。それが分からなければ、マスクや手洗いで予防をしても、感染の防ぎようがないという声もある。そこで、どこまでの情報をどのように扱ったら良いのかという事をお知らせ頂きたい。

A1. 今金町の対策本部に入る情報については、北海道の対策本部から提供される情報が基本となります。町民の皆様には、公の施設で感染者が発生した場合、町職員、公務員が感染した場合には公表をするという指針を持っております。また、個人の方が非公表を望む場合は、公表をする事が出来ないという状況ですが、町民の皆様が利用したり、生活の主として行動する所で発生した場合には、感染された方の同意を得るための努力をして、皆様に周知をするという基本的な考えを持っております。
(副町長)



今金町国保病院の発熱外来

PCR検査について

Q1. 調子が悪く、個人的に検査を受けた時の検査費用はどの位なのか。

A1. 医師の診療の元、新型コロナウイルス感染症の疑いがあった場合、PCR検査や抗原検査の費用については北海道が負担をいたします。また、医療機関での初診料や診断料は保険適用の上、自己負担して頂きます。(国保病院)

今金町地域経済応援商品券補助事業について

Q1. 予算の半分程が補正により減額となったが、町民の方々に商品券があまり利用されなかった要因はどのように捉えているのか。また、一般商店と飲食店の商品券利用戸数を教えて下さい。

A1. 全店共通券と飲食店専用券を分けて販売をいたしました。購入の割合は、セット購入761世帯、セット以外での購入が516世帯の1,277世帯が購入されておりますが、2587世帯のうち約50パーセントに留まってしまいました。商品券自体の認知度や買い慣れない事、コロナ禍で飲食店を利用する事に繋がらなかったと考えております。(まちづくり推進課)

議会を傍聴しましょう！！ (定例会と常任委員会を原則公開しております。)

- ・手続きは、入口備え付けの受付票に住所、氏名、年齢を記入し受付箱に投函するだけです。
- ・役場1階ホールや「Youtube」でもライブ中継をご覧になれます。

今金町ホームページの今金町議会を選択→「議会メニュー」の「議会中継」からお入り下さい。

※令和3年第1回(3月)定例会が近くなりましたら、ホームページや新聞折り込みで日程等をお知らせします。

LIVE